



ボロボロの辞書から世界を開く

—モンゴル大学に入学して「世界バリアフリー児童図書展」を開いたおばあさん医師の話—

65歳で小児科診療所を閉じて、留学したモンゴル大学。同じ単語を何度も引くので辞書がボロボロになりました。帰国後、JICAモンゴル障害児支援事業を引き受け、この9月に西東京市で世界バリアフリー児童図書展を開きました。長年、「ことば」と向き合ってきた経験を若い皆さんにお話します。



うめむら きよら
梅村 浄さん

小児科医・言語聴覚士

1945年3月21日生まれ 小児科医・言語聴覚士。
1990年西東京市で梅村こども診療所を開業。
2010年モンゴルに留学。モンゴル語の習得を通し、0からの言語獲得に挑戦した。その後、科目履修生として、東京外国語大学で数年間学ぶ。2016年から3年間、JICAモンゴル「障害児」療育・教育支援に携わった。現在梅村こども診療所相談室、にしとうきょう市民放射能測定所あるびれお測定員。3人の子を育て、孫は5人。

10月29日(火) 5限 16:00~17:30

場所:VOLAS (研究講義棟206-1)

対象:東京外国語大学 学生みなさん
(@tufs.ac.jp のアドレスが必要)

申込締切:10月29日(火)12:00

*当日参加もOKです!

(定員に達した場合は事前申込者を優先します)

申込みフォーム→ <https://forms.gle/EC3tcdQbNBhDnd82A>

